

維持管理研究室 早坂保則前主任研究員

(共同執筆者：世紀東急工業(株) 鈴木 徹 山崎 剛 永渕克己
国土交通省 福知山国道維持出張所 山田真一)

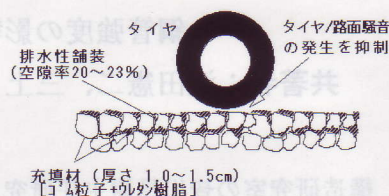
(財)日本道路建設業協会懸賞論文三等受賞

当所道路部維持管理研究室早坂保則前主任研究員(現稚内開発建設部)は平成14年度実施の(財)日本道路建設業協会主催「舗装技術」に関する第13回懸賞論文において三等を受賞しました。

懸賞論文の公募は、道建協の事業活動の柱である「道路技術の向上」の一環として、舗装技術の向上とその振興を図るため、昭和53年から隔年実施されているものです。

受賞論文は「凍結抑制および骨材飛散抵抗性を付加した多機能型排水性舗装の検討」と題するもので、排水性舗装の多機能化と耐久性向上を目的に世紀東急工業(株)と共同で行いました。積雪寒冷地の排水性舗装は、他地域とは異なり早期に排水機能や騒音低減機能が低下することが問題となっており、早急な対策が求められています。

「多機能型排水性舗装」とは、排水性舗装の空隙内に透水性を有するゴムチップ、ウレタン樹脂の予防材を充填する工法です。



多機能型排水性舗装

今回は室内試験、実道試験によりこの多機能型排水性舗装が騒音低減機能、耐流動性、耐摩耗性に優れ、しかも凍結抑制効果があることが明らかになりました。

この研究成果が、積雪寒冷地における道路環境保全に寄与すると高く評価され、表彰されることになりました。

交通研究室 平澤匡介主任研究員

(共同執筆者：交通研究室長 浅野基樹、日本舗道(株) 相田 尚)

(財)日本道路建設業協会懸賞論文佳作受賞

また、当所道路部交通研究室平澤匡介主任研究員は、同懸賞論文において佳作を受賞しました。

今回の受賞論文は、「正面衝突事故対策としてのランブルストリップスの開発」と題する論文で、施工機械の開発を日本舗道(株)と共同で行うとともに、一般国道5号八雲町における実道試験を通じて、ランブルストリップス施工区間の交通状況の分析を行い、正面衝突事故防止に関し、高い費用対効果が生じることを論じたものです。

「ランブルストリップス」とは、舗装路面上に凹凸を帯状に設置することにより、車両通過時に振動や音を発生させ、ドライバーに注意を喚起させ、居眠り等による車線逸脱を防止するもので、米国で普及しているものです。

今回はこのランブルストリップスを正面衝突事故対

策として北海道の国道のセンターラインに適応したものです。既存の分離施設と比較し、設置費用が安価であること、除雪の障害にならないこと、および多少の積雪でも振動等で車線逸脱を認知できることなどの長所を備えておりません。



ランブルストリップス

今回の表彰は、積雪寒冷地における事故防止対策としてのランブルストリップスの開発が高く評価されました。

なお、今回の懸賞論文受賞の講評等については、「月刊道路建設」6月号に掲載されております。